

# 交流活動を通して

～心の豊かさ、命の尊さについて考える～

## 目標・ねらい

ボランティア活動を通して、感動する心、正義感や公正を重んじる心、命を大切に、人権を尊重する心、他人を思いやる心や社会貢献の精神、他者との共生などの豊かな心を育てる。

地域社会の教育機能を高めるため、連携・協力することにより、学校との相互の信頼を深める。

標語づくり等を通して、命の尊さについて考える場を設ける。

教育課程上の位置づけ  
特別活動・総合的な学習の時間

## 事前指導・経緯

### 内容説明及び希望調査

各事業前に、JRC委員が中心となり交流活動の意義と、各活動の内容等の説明をし、その後希望調査を実施する。

### 施設への依頼

施設への依頼と日程・人数の調整  
交流内容の打ち合わせ  
各施設の説明会の講師依頼  
休業中は生徒によって活動日が違うため、活動予定表を渡す。

- ・教育課程との関わり
- ・目指す目標
- ・各施設の希望
- ・生徒の要望等

### 生徒への事前指導

各施設の職員を招き、施設の紹介。  
JRC委員より、活動内容の説明。  
服装の確認  
(名札、ジャージ、エプロン、上靴)  
予定日には必ず訪問する。病気等で欠席する場合は、必ず施設に連絡する。  
施設の人の指示を受けて行動すること。自分勝手に判断してはいけない。  
ボランティア体験講座(第1学年)

### 地域広報活動

- ・ミニ集会  
「中学校の取り組みについて」

中学校区生徒指導だより

### 保護者への連絡

- ・学年だより、中学校区生徒指導だより等により交流活動の紹介をする。
- ・各交流活動の活動内容を文書により連絡。

## 交流活動

生徒は、交流内容と時期を把握し、参加する活動を決定する。

【特別養護老人ホーム、シルバーハピネス】

- ・対象生徒  
本校全生徒の内の希望者
- ・参加時期  
夏季、冬季、春季休業中

・活動内容  
施設介護員の手伝い、入所している方とのふれあい

【養護学校】

- ・対象生徒  
本校第1学年
- ・参加時期  
12月

・活動内容  
文化祭の準備の手伝い及び生徒とのゲーム等のレクリエーション

社会福祉法人

特別養護老人ホーム

【シルバーハピネス】  
国民健康保健  
病院併設老人保健施設

【養護学校中等部】

## 他教科との連携

交流活動に関する、単元・題材を意識的に取り上げ、場合によってはクロスして展開

社会科  
・人権について  
・豊かさとは何か

国語科  
・「そこまで飛べたら」  
・「心のきずなをとらえる」  
・「握手」  
・言葉と意味と経験と

保健体育科  
「個人の健康と  
集団の健康」に  
ついて考える

美術科  
・「ポスターを描こう」

## 実施内容

### 交流活動

#### 【シルバーハピネス・特別養護老人ホーム】 資料1

- ・車いすでの散歩
- ・おしぼり、洗濯物たたみ
- ・昼食やおやつ配膳等の手伝い
- ・体操等の活動
- ・お年寄りの喜んでもらえるような活動  
(歌、ピアノ演奏、手品など)

#### 【養護学校】 資料2

1. 始めの会  
(各代表挨拶、日程説明)
2. 各学年ごとに活動  
(文化祭の看板作り)
3. ゲーム  
(ダーツ、Tスロー、グランドゴルフ、)
4. 終わりの会  
(感想発表、お礼の言葉)  
標語の募集



ボランティア体験講座

#### 標語の募集

「その命、みんなのためにも大切に」

「2度と戻らない、たった1つの命、今生きている時間を大切に」

「考えよう、命の重さと、ありがたさ」

お年寄り、養護学校生徒との交流

## 事後指導

### 自己評価

- ・自分の感想をまとめる。
- ・交流活動のまとめ作成。

#### 生徒の感想(養護学校)

今日は、文化祭の手伝いに行きました。最初は、車いすの手伝いをするということだったので、前に学習した車椅子体験を思い出しました。クレヨンでいる塗りをし、飾り付けをしました。みんなと仲良くなり、帰りは見送りをしてくれました。とても嬉しかったです。

#### 生徒の感想

(特養老人ホーム)  
ボランティアに行ったのは初めてではありませんでしたが、仕事をしてお礼を言われたのはやはり嬉しかったです。今はお年寄りの方と結構お話ができて、楽しかったです。ためになる話も聞けてよかったです。

#### 生徒の感想(シルバーハピネス)

僕はこのボランティアを終えて感じたことは、人の命の大切さなどを感じました。仕事に集中してしまい時間を忘れ、お年寄りとおふれあう時、少なくなってしまうことが残念です。

### 校内広報活動

- 校内掲示
- ・各施設の紹介
- ・生徒の感想
- ・交流活動の様子
- ・標語の掲示
- ・文化部作成のポスターの掲示
- ・放送委員会による発表

### 校外広報活動

- ・礼状の作成
- ・学年だより、学校だより
- ・特養老人ホーム、シルバーハピネス両施設との、次の休業中の交流活動の打ち合わせ
- ・中学校区生徒指導だより

## 取組の評価

できるだけいろいろな機会を捉えて、いろいろな角度から交流活動の状況を知らせていくことにより、生徒達はボランティアについての関心を高め、自分から課題を見つけていくことができた。

同じ状況、同じ時間を過ごすことにより、思いやりや優しさを感じることができた。交流活動は回を重ねるたびに、隔たりがなくなり、交流を楽しみにする生徒が多くなってきている。

さらに内容や価値を高めるため、交流活動に対し、一人一人課題をもてるようにし、交流活動で学んだことを、生涯学習の土台となる力にしていきたい。

## 資料1 ボランティア交流（保護者あて文書）

平成17年7月8日

保護者 様

### 夏休みのボランティア活動について

保護者の皆様には、ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動にご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、本校では例年、長期の夏休みを生かして「ボランティア活動」に取り組んでいます。昨年度も夏、冬、春休みに多くの生徒がボランティア活動を体験しました。初めは戸惑う生徒も多数いましたが、年を重ねるごとに生徒たちも活動に慣れ、毎年継続してボランティアに参加する生徒が増えていきます。活動後の感想文等からは一人一人の心の成長がうかがえます。また、それぞれの施設のお年寄りも、中学生との触れ合いを楽しみにしていると聞きました。こうした体験を通して「思いやりの心を持って行動する生徒」を育てたいと学校では考え、夏休みに下記の要領でボランティア活動を実施いたします。つきましては、活動の趣旨をご理解いただき、生徒の参加にご協力くださいますようお願いいたします。

#### 記

#### 1 ボランティア活動場所

- ・シルバーハピネス：国保 病院併設老人保健施設（ 町）
- ・ 苑：特別養護老人ホーム（ 町）

#### 2 活動期間及び時間

- ・シルバーハピネス：7月21日～8月31日
- ・特別養護老人ホーム：7月21日～8月31日  
（土曜、日曜日も施設のお休みはありません）

#### 3 活動時間

- ・午前9時～12時まで
- ・午後2時～4時まで（半日だけの活動も可）

#### 4 活動内容 施設介護員の手伝い，入所している方とのふれあい

- ・車椅子での散歩
- ・おしぼり，洗濯物たたみ
- ・昼食やおやつの配膳等の手伝い
- ・体操等の活動
- ・お年寄りに喜んでもらえるような活動（歌，ピアノ演奏，手品など）  
\*シルバーハピネスでは歌・絵などの指導者の来所時には一緒に活動します。

#### 5 服装及び持ち物

ジャージ上下（必ず名札をつける） エプロン 上靴

\*生徒には次のような注意をしてありますのでご承知ください。

注意： 予定した日には必ず訪問すること。

（活動予定生徒の名簿をお渡ししてあります。予定を変えることは、相手にご迷惑をおかけすることになります。）

病気等で欠席する場合、必ず施設に電話をすること。

施設の方の指示を受けて活動すること。

（一人で判断して行動することはやめましょう。一人一人のお年寄りに合った介護の仕方があります。）

清潔な服装で活動すること。

（お年寄りは抵抗力も弱いので、常に清潔を心がけてください。）

活動しない人は、施設に出入りしないこと。

不明な点は、JRC担当までお問い合わせください。

## 中学校との交流計画

平成 年 10 月 日  
中学部 交流係

- 1 目的 文化祭に向けて共に製作活動をし、ゲームを楽しむことができる。
- 2 参加者 中学校 1 年 B 組 生徒 30 名 職員 1 名 計 31 名  
養護学校 中学部 生徒 15 名 職員 10 名 計 25 名
- 3 指導計画
- (1) 単元名 「スポーツの森を作ろう」
- (2) 目標 文化祭に向けて共に製作活動をし、ゲームを楽しむことができる。
- (3) 展開

時間	学習活動と内容	支援上の留意点	準備する物
10:30	・生徒到着。 自立活動室に移動。	・養護学校や生徒の様子について話をする。	下足置き場シート
10:40	・本校生徒、自立活動室に集合する。 ・グループごとに整列する。 始めの会（進行：） 1 本校生徒代表あいさつ （） 2 校長先生の話 3 生徒代表あいさつ 4 日程、活動内容説明 5 グループ、活動場所発表  ・各活動場所に移動する。	・各グループごとに整列している中学校生徒の横に、本校生徒が並ぶように声をかける。 ・生徒の音が聞こえるようにマイクを準備する。 ・日程表を提示して説明する。 ・グループメンバー表を提示し、生徒は起立してお互いにあいさつをするように声をかける。  ・活動場所は、各学年担当のコーナーとする。	始めの会式次第 マイク 日程表 グループメンバー表
10:50	各グループごとに活動する。 ・看板の文字 ・縁飾り	・各担任の進行による。 ・各グループごとにあいさつをしてから始める。 ・両校の生徒が協力しながら活動に取り組めるように声をかけたり、教師が一緒に行ったりする。 ・丁寧に行うように励ましたり、できれば賞賛したりする。	バンド 皿 桜紙
11:10	ゲームを行う。 1 年生 Tスローから 2 年生 ダーツから 3 年生 グランドゴルフから	・記録しながらゲームを行えるようにチケットを配布する。 記録は、各グループ内で行う。 ・各ゲーム 10 分。時間で移動する。 ・教師が賞賛し、場を盛り上げて、生徒が楽しみながら行えるようにする。	チケット 鉛筆 ルール表
11:40	終わりの会（進行：） 1 感想発表  2 文化祭実行委員の話 （） ・ポスターを生徒代表に渡す。 3 本校生徒お礼の言葉 （）	・始めの会と同様に整列するように声をかける。 ・各グループ 2～3 名指名し、楽しかったことやがんばったことを尋ねたり、製作物を示して賞賛する。 ・大きな声で発表するように励ます。	製作物 終わりの会式次第 マイク  ポスター
11:50	見送り。	・終了時間によって、各グループ代表者のみが見送る。	

資料2 - 2 養護学校との交流会計画（ 中学校での展開例）

- 1 目標 和やかな雰囲気の中、一緒にレクリエーションを楽しむことができる。
- 2 日時 平成 年12月 日（ ）  
10:45～12:00
- 3 場所 体育館
- 4 展開

時間	学習活動と内容	支援上の留意点	準備する物
10:35	Tスローの準備をする。	・気温により体育館の暖房を入れる。 ( )	Tスロー、 黒板、掲示物
10:40	体育館に集合する。	・グループごとに並ぶように、チームのカードを示し、各チームの職員は声をかける。(ステージ前)	メンバー表
10:45	中学校生徒到着。 (体育館脇) 1, 始めの会 司会進行: 始めの言葉: 歓迎の言葉: 中学校生徒代表あいさつ 本校校長あいさつ 日程、内容説明、ルール説明: 岩瀬 グループ発表:岩瀬 終わりの言葉:	・生徒の声が聞こえるようにマイクを使用する。 ・掲示物を提示して説明する。 ・チーム発表時には、呼名に対して返事をしてその場に立つように声をかける。 ・ では、Tスローのルール説明 を含むようにする。	放送機器マイク2本 式次第 日程表
11:00	2, Tスロー 各コートに移動する。 チームリーダーを決める。 Tスロー開始。	・チームリーダーを中心に、和やかな雰囲気の中でゲームに取り組めるよう声をかける。 ・担当職員の指示のもと、ゲームを開始する。 ・成績は、記録表(掲示物)に審判が記入する。	対戦表
11:25	3, 中学校生徒によるレク。 ジャンケンゲーム  ジェスチャーゲーム  合唱	・中学校生徒の進行による。 ・中学校生徒に注目するように、職員は注意を促す。 ・ジャンケンカードを用意する。 ・生徒の声が聞こえるようにマイクを使用する。	C D ラジカセ ジャンケンカード 放送機器マイク2本
11:50	4, 終わりの会 司会進行: 始めの言葉: 成績発表:Tスロー( ) 表彰:( ) 感想発表 終わりの言葉: 見送り	・成績発表、賞品、感想発表では、賞賛の拍手をするように促す。 ・終わりの言葉の中に、お礼の言葉を含める。	式次第 成績表 金銀銅メダル
12:00	使用した用具を片づける。	・準備した学級で行う。	

5 グループ分け 中太字：リーダー

A	B	C	D	E	F	G	H

6 Tスロールール

- ・ 1チーム1ゲームにつき、6球を使用する。
- ・ 3mと4mの2ゲーム行う。
- ・ サークル内1点、白ボールに近いチームに1点加算する。
- ・ 2ゲームの合計点数が多いチームを勝ちとする。
- ・ 1位・2位・3位チームには、金・銀・銅メダルを贈呈する。  
(同点時は、リーダーによるジャンケンで決定)

7 Tスロー対戦表

第1コート 審判：	第2コート 審判：	第3コート 審判：	第4コート 審判：
A x H	B x G	C x F	D x E

審判は各自  
笛・赤青カード・定規  
を用意する。

8 職員役割分担、生徒片づけ

企画・進行：

Tスロー指揮：

Tスロー用具・片づけ： 2 - 1

メンバー表、式次第： 3 - 1

対戦・成績記録表： 1 - 1

金・銀・銅メダル： 3 - 1

放送機器：

記録(デジカメ)：各学級担任

9 体育館配置図(Tスロー)

中学生は、体育館脇(自立活動室側)から入る。

(雨天時、下足置き場のシート準備)

全体会は、ステージ前で行う。

